平成 29 年度 事務事業評価シート

事務事業の概要・計画(PLAN)

事務事業名	子ども医療一般事務	会計名称		一般会計				担当課	市民課				
学 份学未有	丁乙も区別 収事伤	予算科目	科目 3 款 2 項 7 目 事業番号 1840					1840	所属長名	渡辺悦子			
事業評価の有無	□ 評価対象事業 ■ 評価対象外事業(事業の概要・結果のみ)							担当責任者名	上田令奈				
法令根拠等	伊予市こども医療費の助成に関する条例(平成28年6月	29目改正)								【開始】	平成	17 :	年度
総合計画での	健康福祉都市の創造								実 施 期 間	14071	平成	:	年度(予定)
位置付け	生涯にわたる健康づくり								[終了] 「 □ 設定				設定なし
総合計画における本事業の役割	子ども医療費助成により、子育て世代の経済的負担の軽減と少子化対策を図る。												
事業の対象	15歳(中学校卒業まで)までの子ども 事業の目的 子ども医療費助成を実施す						助成を実施する	るための事務的経費	骨の支出				
事業の内容 (整備内容)	医療費助成を実施するための証の発行、県への補助金申請等、事務を執行する上で 必要な経費を支出する。 医療費助成にかかる審査支払い手数料と一般事務費であるため こととした理由												

事業活動の内容・成果 (DO)

			事	業	€ 3	麦 及	びりました。	原内	尺(一寸	f 円)			事業	舌 動	の	実 績	(活動	指標)
		項			=	前年度決算	当初予算額	補正予算額	継続費その他	翌年度繰越	決算額	項	目	単	位 28	年度実績	29 年度予定	9月末の実績	29 年度実績
	直	接	事	業	費	2, 623	2, 392	645	0	0	3, 0	37							
		国	庫	支 出	金		0	0	0	0		0 年間療費助	成額(乳幼児	1 (1)	-円	79005	21538	21790	45169
ļ	ᅡ	県	支	出	金	348	333	0	0	0	3-	40							
3	^界 —	地		方	債		0	0	0	0		0							
	尺 _	そ		の	他		0	0	0	0		0 年間療養助	成額 (児童)	Ŧ	-円	9992	86152	45757	94419
		_	般	財	源	2, 275	2,059	645	0	0	2, 6	97							
	職員	の人	エ(にんく	() 数	0.20	0. 20				0.3	20 医康弗比卡	₩ <i>在1</i> 中₩ (◎	LZE					
1	人工	当た	<u>-</u> りの	人件:	費単価	8, 086	8, 017				8, 0	17 医療資助成 (F)	対象件数(浮	L3/J 1	牛	37755	37201	17088	34991
	X	直接	事業	費+丿	人件費	4, 240	3, 995				4, 6	40							
		主な	は実が	拖主体		臨時職員0.1 実施	人を含む直接	実施形態(補 理料・委託料	助金・指定管 等の記載欄)			医療費助成童)	対象件数(児	Ē 1	牛	5155	30420	15732	31400
	六- 2-5-5-11-0-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-					30	年度	31 年度	32	年度	33	3 年度	34 年	度 5年	間の合計				
	向こう5年間の直接事業費の推移 (千円)						3, 000	3, 00	00	3,000		3, 000	3,	, 000	15, 000				

事務事業評価 (CHECK)

自己判定 (担当責任 者)	事業の成果	制度を運営していくためには、必要な経費であるため継	続する必要がある。	•
		■ 事業継続と判断する。		
一次判定	事業の 方向性	□ 事業縮小と判断する	判断の理由	子育て世代の経済的支援と、こどもの病気の早期発見と治療につなげるため、継続して必要な事業経 費である。
	75.712	□ 事業廃止と判断する		

	■ 一次判定結果のとおり事業継続と判断する。	
	一次判定結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。	指摘事項を踏まえ、事務改善、事業推進
		に努め、今年度の事務事業評価シートに 反映させること。
二次判定		
	□ 一次判定結果のとおり事業縮小と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	
	□ 一次判定結果のとおり事業廃止と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	
	□ 既に事業廃止が決定していることから、廃止に向けた手続を行う。	
	ж нон -	
	答申の内容	
行政評価委員会の答申		
外 部 評 価		
今後の方向性 (ACTION)		
分談の分別門上(MOTTON)	事業の方向性コメント欄	
	□ さらに重点化する。	
4- W -4 A -44	■ 現状のまま継続する。	
経営者会議 の最終判断	□ 右記の点を見直しの上、継続する。	
	事業の縮小を行う。	
the state of the s		